



やっと、小さな旅に出て、10月中旬に鹿児島空港近くの霧島温泉に行きました。嘉例駅の入り口でアワの畑がありました。最南端の縄文遺跡、上野原の施設は月曜休みで、見学できませんでした。以前も同じことがあり、菜畑遺跡も塀の外から怪しげに覗いただけです。縄文ブームのようです。土器などに注目が集まりますが、今も、生きたまま篤農によって何千年も経て種継されているシコクビエ、アワ、キビ、ヒエなどの雑穀、生物文化多様性にも関心を持っていただきたいと願います。

小金井でも雑穀の祖先種や近縁種が身近に生えているのですが、どうして栽培化されないのか不思議ですね。野川の辺には縄文時代以前から人の暮らしがありました。ケイヌビエは栽培ヒエと遜色ないくらいの穂と種子粒をもっています。小金井に暮らした縄文人は採取して食べていたのでしょうか。阪本師らが提起しているように日本起源の可能性のあるヒエの地理的起源に関する再考を『第四紀植物』で試みました。

旧佐野川村は1975年に初めて訪ねました。今でもアワ、キビ、モロコシを栽培している92歳の篤農のほかを宮本さんの案内で10月18日に訪問しました。

素のままの美しい花々、物事、作品、言葉、その中に真情を見いだしては称賛し、日々の暮らしの中で共感し、結び、希望を求めて励まし合いたいです。ぜひ友の会会員になってくださり、一緒に植物をめぐる生物文化多様性、在来品種の保全のための調査研究や普及活動にご参加ください。

1. 植物と人々の博物館

- 1) 開館・作業予定日：10月14日に標本整理をしました。作業は隔週で再開予定です。
- 2) 民族植物学ノオト： 第15号電子版は原稿募集中です。論文、随筆などなんでも、ぜひご寄稿ください。締め切りは2021年12月末、2022年3月発行予定です。安孫子さんから降矢静夫書簡集、降矢俳句解説の2編をいただいています。岩手県の方や玉木さんから寄稿のご連絡がありました。編集子は1968年以来考えてきた「大学論」を準備しています。これまでのすべての記事pdfは植物と人々の博物館ホームページ(下記：ミュージアムグッズの項)で読めます。

<http://www.ppmusee.org/goods.html>

- 3) 電子書籍：植物と人々の博物館ホームページ(ミュージアムグッズ)に電子書籍(既刊)の項で読めます。『第四紀植物』第8章栽培化過程、農耕文化および生物文化多様性を公開しました。続いて第9章「農業文明および国の起源と現代」を書いており、年内に全章を書き終える予定です。『環境学習原論』は環境楽習会3回の座談会の意見を参考に、年内に増補改訂します。

一部公開中：『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』、『日本雑穀のむら』、『Essentials of Ethnobotany』の一部公開は来年から始めます。発行予定：『山村農人降矢静夫対談集』(降矢静夫・木俣美樹男)。これらは書き終えたら、電子出版にしま

す。木俣美樹男 2022、クリンネスは偶数月に植物の香りを話題に連載継続します。

5) 寄贈など

「お米の勉強会会報」「クリンネス」「現代農業」「うかたま」「地域」ほか。

7) 植物と人々の博物館基金 PPM Foundation を作ります。

大口寄附ではなく、クラウド・ファンディングや助成・補助よりも、できるだけローテクで貯金箱に眠っている 1 円玉からする任意募金を以前から考えていました。植物と人々の博物館の維持のためにご協力を、よろしくお願いします。

郵便振込口座は下記です。講座名義：特定非営利活動法人自然文化誌研究会
口座番号：00100-2-665768

2. 環境学習市民連合大学 Civic United University for Environmental Studies

環境学習理論・実践「環境学習原論」を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作りました。主旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学びあう市民連合大学をリンク・ページとして、インター・ネット上で運営することです。12 世紀、ルネサンスの先駆けであった原初の大学は学び合いたい人々の学習者組合でした。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。ただ、学び合いたい人々が存在するだけです。学ぶ意味や大学について改めて考え直したいです。このサイバー大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の協力（リンクなど）を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。下記のセミナーの過去動画や予習・復習資料 pdf およびご案内は下記のサイトにあります。

<http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

多くの世代が信頼の下に、ともに話し合い、深く考えて環境問題の解決を探りたいです。セミナー座談会に参加ご希望の方は下記にメールください。ご案内や資料（ZOOM の URL）などお送りします。 kibi20kijin@yahoo.co.jp 木俣美樹男あて

第 3 回環境楽習会「環境学習原論」 10 名の参加。近日中に動画も公開します。

日時：10 月 31 日（日）10：30～12：00

場所：小金井市環境楽習館および ZOOM

話題：生涯にわたる環境学習過程および日本村塾教育（30 分）。座談会（90 分）。

環境楽習会「読書会」 数名参加予定。

日時：2021 年 11 月 18 日（木）、13：30～15：30

場所：小金井環境楽習館、小金井市、武蔵小金井駅から歩いて数分。

話題：街を耕す、先達明峯哲夫の著作をめぐって

担当者：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

ご参考まで、参加費などはありません。ご連絡いただければ交通をお知らせします。

課題図書：明峯哲夫 2016、生命を紡ぐ農の技術、コモンズ、東京。1800 円

第 2 回自給農耕ゼミ（小金井）

日時：11 月 23 日（火祝）14：00～16：00

場所：カエルハウスおよび ZOOM

話題：農山村の多面的機能、エコミュージアム、スタディ・ツーリズム（30分）。座談会（90分）。

* カエルハウスの主宰は片山薫さん（小金井市会議員）で、家庭菜園や市民農園などの学習会と一緒に始めます。これまでの自給農耕ゼミの参加者の方も ZOOM 参加していただくと嬉しいです。

第4回環境楽習会「環境学習原論」

日時：12月26日（日）10：30～12：00

場所：小金井市環境楽習館および ZOOM

話題：気候変動に対応する暮らし（仮題）「気候変動に対応する暮らし」

話者：藤村コノエさん（環境文明 21 代表）

3. 雑穀街道普及会：

雑穀街道普及会の会員や賛同者になっていただければ嬉しいです。趣意書や会則など、「街道美味」は下記のホームページをご覧ください。会費は任意、会の規模が大きくなり、事務経費が必要になるまでは求めません。少しずつ、会員になっていただくようお願いしています。

遠くアフリカなどから極東にまで伝播してきて、縄文後晩期以降、この島嶼に住む人々の命の糧であった雑穀、日本における伝統的な雑穀栽培はいよいよ絶滅しそうな状況にあります。生きた文化財、雑穀や野菜の在来品種は種継をしなければ、死んでしまい、もう生き返らせません。生物文化の伝統も継承されません。全国各地の伝統的雑穀栽培継承者が90歳を超えようとしています。雑穀農耕文化複合は日本の山村が世界に誇る生きた文化財として継承すべきです。雑穀街道を FAO 世界農業遺産に登録申請する提案普及を続けます。広い心をもって、個人も地域社会も全国へ、さらに世界の起源の地にまで街道を繋げて行ってほしいです。2023年は国際雑穀年になります。どうぞご助力いただけますようお願いします。

* 下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、45年間、調査研究してきた『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。現在は第5章中部・北陸地方を整理しています。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletn/jnmpilvil.html>

4. 自然文化誌研究会

主な活動予定：詳細は下記ウェブサイトにあります。

5. 小金井環境フォーラム： 詳細は下記 URL

<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankyokyouikugakusyuu/kankyoforum.html>

日時：11月17日～21日

場所：武蔵小金井駅前の宮地楽器ホールおよび環境楽習館

* 上記読書会はこの期間中に行います。あわせてご来場ください。

~~~~~  
**植物と人々の博物館** (山梨県小菅村)：館長：木下善晴、顧問研究員；安孫子昭二

研究員：木俣美樹男 (東京、運営委員)、西村俊 (石川、担当理事)、藤盛礼恵 (千葉、運営委員)、川上香 (長野)、渡辺隆一 (長野) ほか

公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

環境学習市民連合大学 <http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務幹事 メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

民族植物学関係 HP:生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

エコミュージアム日本村／ミュージアム研究会／トランジション小菅 (山梨県小菅村)：

代表 亀井雄次 (山梨小菅村)

自然文化誌研究会：代表 中込卓男 (東京)、副代表 中込貴芳 (東京)、小川泰彦 (埼玉)

<http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

事務局長：黒澤友彦 (山梨県小菅村) [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

~~~~~  
写真：相模原市緑区佐野川の雑穀の保存、宮本さんの栽培見本園

